

調整土砂

～利用促進に向けて～



(一社) 日本碎石協会 鹿児島県支部
鹿児島県碎石協同組合連合会

調整土砂とは・・・

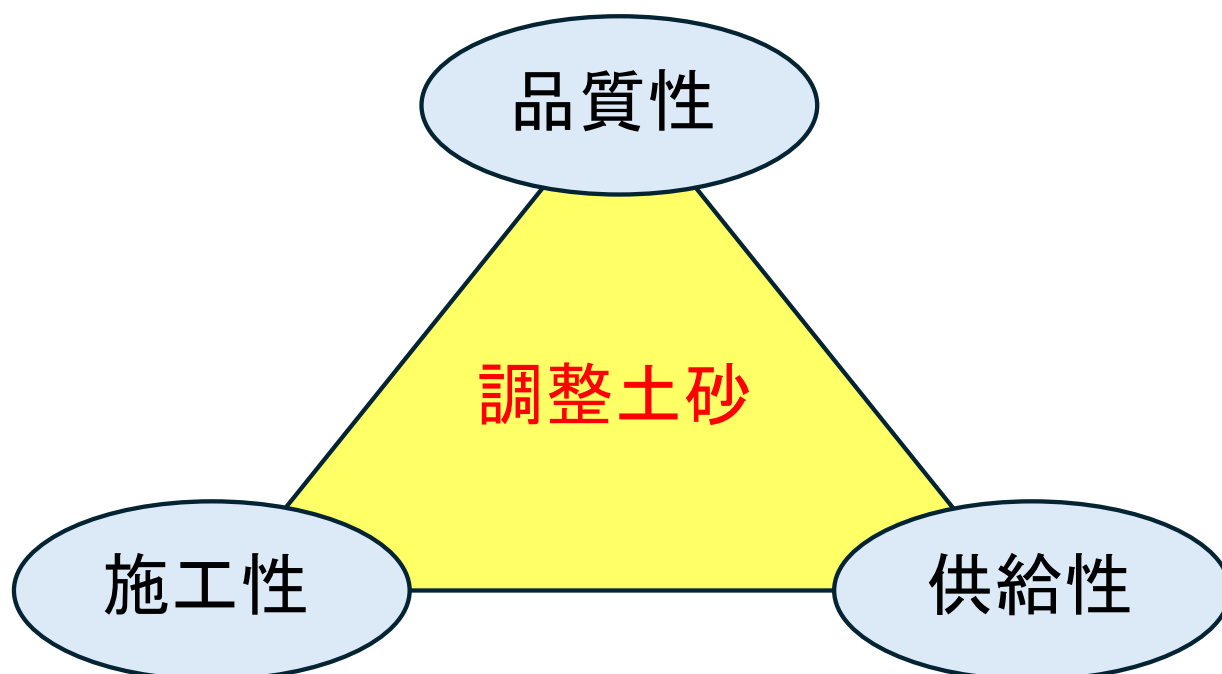
調整土砂は砕石工場において骨材を生産する際に生じる副産物です。

原石の破砕片や土砂等を主原料としており、路体・路床盛土、造成地の盛土材、埋立て材料としてこれまでも利用されてきましたが、今後はシラスの代替品としての利用も期待されます。

また、原材料が自然由来の為、環境面においても安心して利用することができます。



調整土砂の特徴(メリット)



★品質性

- ・ 一定の品質であり、ばらつきが少ない。
- ・ 密度が大きい。

★供給性

- ・ 県下全域において安定供給が可能。

★施工性

- ・ 水が多い現場でも使用可能
- ・ 雨水等による流出が少ない
- ・ 雨でも施工可能なため、工期短縮が可能

調整土砂の品質

品質試験結果

品質項目	調整土砂		シラス
	A工場	B工場	
最適含水比(%)	7.5	8.4	28.2
最大乾燥密度(g/cm ³)	2.173	2.126	1.250
修正CBR(%)	69.1	63.5	28.8
塑性指数	—	—	NP

工場ごとに原石が異なる為、各物性値に違いは見られますが、調整土砂においては修正CBRの試験結果は60%以上を示し、盛土材(置換材)として求められる支持力<20%以上>は満足しています。

調整土砂の施工実績

調整土砂はこれまでも国土交通省九州地方整備局、鹿児島県及び市町村、日本鉄道建設公団(現:独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)発注の公共事業や、民間工事における施工実績があります。

～路体・路床盛土～



調整土砂の施工実績

～造成・その他盛土～



～土羽～

